

# ヒューマンタッチ総研 Monthly Report

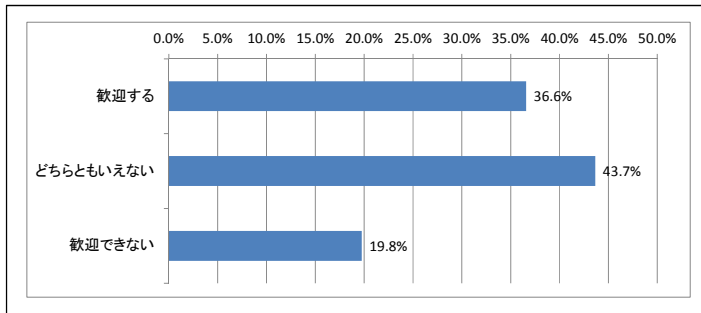
令和2年3月

ヒューマンタッチ総研レポートでは、建設業に特化して人材関連の様々な情報、最新の雇用関連データを月に1回のペースで発信していきます。ご愛読いただければ幸いです。

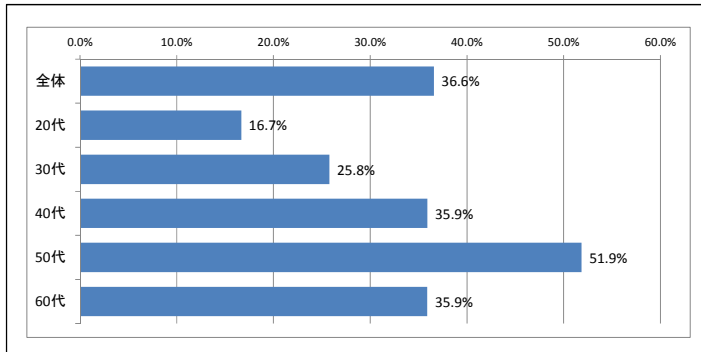
## 1 建設業界のトピックス

今国会で審議中の高年齢者雇用安定法改正案で70歳までの就業機会確保が企業の努力目標に位置付けられるなど、70歳現役社会に向けての法整備が進み始めました。今回は、このような「70歳定年制」に向かう雇用環境の変化を建設技術者はどのように感じているのかについて、2020年1月にヒューマンタッチが実施した「建設技術者の仕事への満足度と転職意識に関するアンケート調査」からご紹介します。

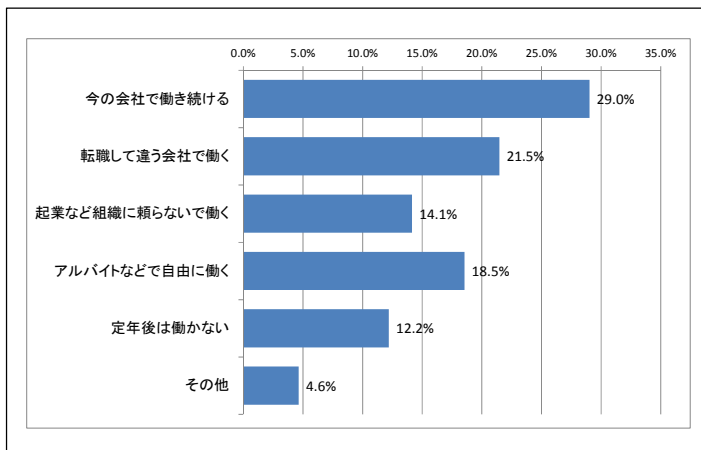
【図表① 70歳定年制についてどのように感じますか（全体平均）】



【図表② 「歓迎する」と回答した人の比率（年齢層別）】



【図表③ 定年後どのような働き方をしたいですか】



■70歳定年制を「歓迎する」は36.6%、「歓迎できない」を16.8ポイント上回る

「70歳定年制についてどのように感じますか」という質問に対して、「歓迎する」と回答した人は36.6%で、「歓迎できない」の19.8%を16.8ポイント上回りました(図表①)。全体としては70歳定年制について肯定的に考える建設技術者の方が多いといえそうですが、「どちらともいえない」が43.7%に達していることから、態度を決めかねている人も多いことに注意しておく必要があります。

■70歳定年制歓迎は50歳代で51.9%、一方20歳代は16.7%

年齢層別に「歓迎する」と回答した人の比率を見ると、最も比率が高いのは50歳代の51.9%であり、半数が70歳定年制を肯定的に受け取っていることが分かります(図表②)。一方、20歳代では16.7%、30歳代では25.8%となり、若い世代ほど肯定的に受け取っている人が少ないという結果になっています。

■約3割が「定年後も今の会社で働きたい」

「定年後どのような働き方をしたいですか」という質問に対する回答として最も多かったのは、「今の会社で働き続ける」の29.0%で、次いで「転職して違う会社で働く」の21.5%となりました(図表③)。

<調査の概要>

調査時期: 2020年1月

調査対象: ヒューマンタッチ株式会社に登録している建設技術者

調査手法: インターネットによるアンケート調査

アンケート回収数: 411人

## 2 2020年1月の建設業界の雇用関連データ(2020年2月28日公表)

### (1)建設業の就業者数・雇用量数・新規求人数

◆建設業の就業者数は459万人(前年同月比97.0%)、雇用量数は380万人(前年同月比97.7%)となり、ともに減少。

	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月
就業者数(万人)	473	496	509	503	499	504	495	508	502	494	513	488	459
前年同月比	93.1%	99.8%	101.6%	99.8%	101.0%	98.2%	97.4%	98.3%	96.9%	99.4%	102.2%	101.2%	97.0%
雇用量数(万人)	389	400	412	417	410	411	408	417	412	407	420	403	380
前年同月比	93.1%	99.3%	101.7%	102.5%	101.7%	97.9%	98.1%	100.0%	97.9%	96.7%	102.9%	103.1%	97.7%

出典:総務省「労働力調査」より作成

◆公共職業安定所(以下:ハローワーク)における新規求人数は65,149人(前年同月比88.1%)と大幅に減少。厚生労働省では「令和2年1月から求人票の記載項目が拡充され、一部に求人票の提出を見送る動きがあったことから、求人数の減少を通じて有効求人倍率・新規求人倍率の低下に影響していることに留意が必要」としているが、2月についても新型コロナウイルスの影響等も懸念され、今後の求人動向を注視する必要がある。

#### <建設業の新規求人数の推移(新規卒者とパートを除く)>

	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月
新規求人数(人)	73,920	72,460	72,144	74,997	68,831	74,247	76,101	65,764	72,547	77,093	66,211	67,089	65,149
前年同月比	107.2%	105.7%	98.3%	105.8%	97.9%	100.3%	108.0%	97.2%	100.3%	102.9%	94.9%	104.6%	88.1%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

### (2)建設技術職の雇用動向

◆ハローワークにおける建築・土木・測量技術者(常用・除くパート)の有効求人倍率は対前年同月比0.04ポイント上昇して6.86倍となった。有効求人倍率は56カ月連続で前年同月を上回ったが、上昇率は僅かである。

◆有効求人数は対前年同月比98.2%と48カ月ぶりに前年同月を下回り、建設業各社の求人意欲の低下が懸念される。

◆有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率を見ると、対前年同月比0.69ポイント低下して7.85倍となった。新規求人倍率が前年同月を下回るのは2015年4月以来4年9か月ぶりであり、今後の建設技術者の需給動向を注視する必要がある。

◆充足率は対前年同月比で0.3ポイント低下して3.1%となり、ハローワークで建設技術者を採用することは困難な状況が続いている。

\*充足率=(就職件数/新規求人数)×100(%)

#### <ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月
新規求人数(人)	19,685	19,775	19,014	20,135	19,124	20,600	20,772	18,980	19,807	21,633	18,984	19,685	17,758
有効求人数(人)	56,674	57,304	57,929	58,062	57,626	58,810	59,958	58,863	58,695	59,809	59,981	58,834	55,627
新規求職者数(人)	2,305	2,212	2,328	3,303	2,290	2,004	2,254	1,923	1,934	2,175	1,821	1,686	2,261
有効求職者数(人)	8,312	8,456	8,903	9,821	9,732	9,285	8,878	8,643	8,520	8,513	8,177	7,841	8,111
新規求人倍率	8.54	8.94	8.17	6.10	8.35	10.28	9.22	9.87	10.24	9.95	10.43	11.68	7.85
有効求人倍率	6.82	6.78	6.51	5.91	5.92	6.33	6.75	6.81	6.89	7.03	7.34	7.50	6.86
就職件数	676	754	937	899	895	854	798	741	774	802	742	662	549
充足率	3.4%	3.8%	4.9%	4.5%	4.7%	4.1%	3.8%	3.9%	3.9%	3.7%	3.9%	3.4%	3.1%

#### <ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の対前年同月比(常用・除くパート)>

	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月
新規求人数	104.6%	104.2%	97.4%	104.7%	100.8%	101.7%	107.7%	100.6%	102.6%	102.5%	96.8%	108.7%	90.2%
有効求人数	101.9%	102.5%	102.0%	102.1%	101.4%	101.9%	103.7%	101.9%	103.3%	101.9%	101.2%	101.4%	98.2%
新規求職者数	98.9%	97.2%	90.2%	91.8%	85.1%	86.8%	101.7%	91.4%	99.5%	93.7%	89.1%	100.7%	98.1%
有効求職者数	97.2%	97.1%	95.7%	94.4%	91.7%	90.2%	93.0%	94.7%	96.0%	94.4%	93.6%	95.3%	97.6%
新規求人倍率	0.46	0.60	0.61	0.76	1.30	1.51	0.52	0.91	0.31	0.86	0.83	0.87	-0.69
有効求人倍率	0.32	0.36	0.40	0.44	0.57	0.72	0.69	0.49	0.49	0.53	0.56	0.44	0.04
就職件数	99.0%	99.7%	99.8%	94.2%	89.5%	87.6%	91.4%	95.9%	95.7%	88.1%	91.7%	95.4%	81.2%
充足率	-0.2%	-0.2%	0.1%	-0.5%	-0.6%	-0.7%	-0.7%	-0.2%	-0.3%	-0.6%	-0.2%	-0.5%	-0.3%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

### (3)建設技能工の雇用動向

◆ハローワークにおける建設・採掘の職業(常用・除くパート)の有効求人倍率は、対前年同月比 0.08 ポイント上昇して 5.57 倍となった。57 カ月連続で前年同月を上回ったが、上昇率は僅かである。

◆有効求人数は対前年同月比 96.1%と 49 カ月ぶりで前年同月を下回り、建設業各社の求人意欲の低下が懸念される。

◆有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率は対前年同月比 0.32 ポイント低下して 6.22 倍となった。新規求人倍率が前年同月を下回るのは 2015 年 4 月以来 4 年 9 か月ぶりであり、今後の建設技能工の需給動向を注視する必要がある。

◆充足率は前年同月より 0.2 ポイントダウンして 5.7%となり、ハローワークで建設技能工を採用するのは困難な状況が続いている。

\* 充足率=(就職件数/新規求人数)×100 (%)

#### <公共職業安定所(ハローワーク)における建設・採掘の職業の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月
新規求人数(人)	38,564	38,050	37,514	39,022	35,856	38,176	39,508	34,132	37,952	39,971	34,622	34,487	33,611
有効求人数(人)	105,856	108,443	112,572	113,085	110,537	111,213	111,911	109,854	110,223	110,815	110,955	107,479	101,723
新規求職者数(人)	5,899	5,250	5,787	6,475	5,362	4,939	5,074	4,443	4,666	4,723	4,222	4,029	5,401
有効求職者数(人)	19,272	19,859	20,954	21,695	21,198	20,472	19,997	19,166	18,957	18,714	17,981	17,410	18,261
新規求人倍率	6.54	7.25	6.48	6.03	6.69	7.73	7.79	7.68	8.13	8.46	8.20	8.56	6.22
有効求人倍率	5.49	5.46	5.37	5.21	5.21	5.43	5.60	5.73	5.81	5.92	6.17	6.17	5.57
就職件数	2,132	2,391	2,844	2,949	2,881	2,694	2,874	2,311	2,579	2,591	2,373	2,197	1,932
充足率	5.5%	6.3%	7.6%	7.6%	8.0%	7.1%	7.3%	6.8%	6.8%	6.5%	6.9%	6.4%	5.7%

#### <公共職業安定所(ハローワーク)における建設・採掘の職業の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月
新規求人数	105.8%	106.5%	99.6%	104.7%	96.8%	100.5%	107.6%	96.0%	101.3%	102.6%	96.3%	105.0%	87.2%
有効求人数	105.1%	105.3%	104.2%	103.9%	100.6%	101.0%	102.1%	101.5%	102.1%	100.4%	100.4%	101.5%	96.1%
新規求職者数	94.5%	92.1%	85.3%	89.5%	84.8%	88.8%	96.9%	81.2%	98.1%	88.0%	90.7%	97.2%	91.6%
有効求職者数	91.9%	93.1%	90.8%	91.4%	89.4%	90.2%	92.9%	91.0%	93.0%	91.0%	92.5%	94.7%	94.8%
新規求人倍率	0.70	0.98	0.93	0.88	0.83	0.91	0.78	1.19	0.30	1.21	0.48	0.64	-0.32
有効求人倍率	0.69	0.63	0.69	0.63	0.58	0.58	0.51	0.59	0.51	0.55	0.48	0.41	0.08
就職件数	90.8%	92.8%	96.1%	93.7%	89.1%	87.2%	98.3%	87.8%	100.0%	87.6%	86.9%	98.5%	90.6%
充足率	-0.9%	-0.9%	-0.3%	-0.9%	-0.7%	-1.1%	-0.7%	-0.6%	-0.1%	-1.1%	-0.7%	-0.4%	0.2%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

## 2 2020年1月の雇用関連データのまとめ(2020年2月28日公表)

### (1) 主要な雇用環境指標の推移

◆ 就業者数、雇用者数ともに 85 か月連続で前年同月を上回る

就業者数は 6,687 万人(対前年同月比 59 万人増)、雇用者数は 6,017 万人(同 64 万人増)となり、ともに 2013 年 1 月以降 85 ヶ月連続で前年同月を上回った。就業率は 60.3%となり、対前年同月を 0.6 ポイント上回った。

◆ 完全失業率が前月より 0.2 ポイント上昇して 2.4%となる

完全失業率(季節調整値)は前月より 0.2 ポイント上昇して 2.4%となった。完全失業者数は対前年同月比 7 万人減少して 159 万人であった。

【主要雇用環境指標の推移】

	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月
15歳以上人口(万人)	11,097	11,088	11,090	11,089	11,093	11,093	11,096	11,091	11,092	11,097	11,097	11,085	11,086
対前年同月増減(万人)	-5	-12	-10	-9	-10	-17	-6	-7	-10	-7	-6	-8	-11
労働力人口	6,793	6,812	6,861	6,884	6,898	6,909	6,888	6,908	6,936	6,951	6,913	6,883	6,846
対前年同月増減(万人)	71	68	68	33	42	54	56	56	59	63	36	68	53
就業者数(万人)	6,628	6,656	6,687	6,708	6,732	6,747	6,731	6,751	6,768	6,787	6,762	6,737	6,687
対前年同月増減(万人)	66	78	67	37	34	60	71	69	53	62	53	81	59
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	59.7%	60.0%	60.3%	60.5%	60.7%	60.8%	60.7%	60.9%	61.0%	61.2%	60.9%	60.8%	60.3%
対前年同月増減	0.6%	0.8%	0.7%	0.4%	0.4%	0.6%	0.7%	0.7%	0.5%	0.6%	0.5%	0.8%	0.6%
雇用者数(万人)	5,953	5,962	5,948	5,959	5,993	6,023	6,034	6,025	6,017	6,046	6,046	6,043	6,017
対前年同月増減(万人)	73	87	76	43	62	83	81	72	51	50	63	80	64
完全失業者数(万人)	166	156	174	176	165	162	156	157	168	164	151	145	159
対前年同月増減(万人)	7	-10	1	-4	7	-6	-16	-13	6	1	-17	-14	-7
完全失業率	2.5%	2.3%	2.5%	2.4%	2.4%	2.3%	2.2%	2.2%	2.4%	2.4%	2.2%	2.2%	2.4%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆ 最も就業者数が増加したのは医療・福祉で 31 万人増、減少したのは建設業で 14 万人減

産業別に就業者数を見ると、就業者数が最も増加しているのは医療・福祉であり、対前年同月比 31 万人増加して 848 万人となった。一方、最も減少したのは建設業で、対前年同月比 14 万人減少して 459 万人となった。

【主要産業別の就業者数・雇用者数】

		農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業
就業者	実数(万人)	184	459	1,060	244	352	1,084	160
	対前年同月増減数	12	-14	5	16	-9	22	3
	対前年同月増減率	7.0%	-3.0%	0.5%	7.0%	-2.5%	2.1%	1.9%
雇用者	実数(万人)	58	380	1,020	234	338	1,008	158
	対前年同月増減数	4	-9	9	15	-10	18	3
	対前年同月増減率	7.4%	-2.3%	0.9%	6.8%	-2.9%	1.8%	1.9%
		不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術 サービス業	宿泊業 飲食サービス 業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療・福祉	サービス業 (他に分類され ない)
就業者	実数(万人)	132	246	407	231	338	848	456
	対前年同月増減数	14	8	-8	1	-12	31	2
	対前年同月増減率	11.9%	3.4%	-1.9%	0.4%	-3.4%	3.8%	0.4%
雇用者	実数(万人)	118	192	358	182	309	819	413
	対前年同月増減数	12	7	-1	-3	-12	34	1
	対前年同月増減率	11.3%	3.8%	-0.3%	-1.6%	-3.7%	4.3%	0.2%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆ 非正規の社員数は 28 か月ぶりに減少

雇用者数を正規、非正規別に見ると、正規の職員・従業員数は 3,516 万人(対前年同月比 42 万人増)と 4 か月連続で増加した。非正規の職員・従業員数は対前年同月比 5 万人減少して 2,149 万人(同 23 万人増)となり、28 か月ぶりに減少に転じた。非正規社員比率は 37.9%で前年同月より 0.4 ポイント低下した。

【雇用形態別雇用者数の推移】

	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月
役員を除く雇用者数(万人)	5,628	5,643	5,616	5,616	5,641	5,679	5,699	5,688	5,683	5,721	5,712	5,698	5,665
正規の職員・従業員(万人)	3,474	3,486	3,439	3,500	3,535	3,531	3,526	3,497	3,481	3,526	3,526	3,518	3,516
構成比	61.7%	61.8%	61.2%	62.3%	62.7%	62.2%	61.9%	61.5%	61.3%	61.6%	61.7%	61.7%	62.1%
対前年同月増減(万人)	27	56	22	33	24	30	4	-18	-9	4	7	40	42
非正規の職員・従業員(万人)	2,154	2,157	2,176	2,116	2,106	2,148	2,174	2,190	2,202	2,196	2,186	2,179	2,149
構成比	38.3%	38.2%	38.7%	37.7%	37.3%	37.8%	38.1%	38.5%	38.7%	38.4%	38.3%	38.2%	37.9%
対前年同月増減(万人)	35	37	65	12	27	46	71	82	59	40	44	23	-5

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆最も完全失業率が上昇したのは35歳～44歳の男性

年齢構成別・男女別に完全失業者数及び完全失業率を見ると、最も完全失業率が上昇したのは35歳～44歳の男性であり、対前月比0.4ポイント上昇して2.3%となった。

【年齢階級別・男女別完全失業者数・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数 (万人)	対前年同月増減 (万人)	完全失業率 (季節調整値)	対前月増減 (ポイント)
総数	159	-7	2.4%	0.2
(男)	91	-4	2.4%	0.0
(女)	67	-4	2.2%	0.2
15歳～24歳	18	1	3.6%	0.4
(男)	10	1	4.0%	0.1
(女)	8	0	3.2%	0.3
25歳～34歳	41	1	3.6%	0.5
(男)	23	-1	3.5%	-0.1
(女)	18	2	3.7%	1.2
35歳～44歳	29	-4	2.2%	0.2
(男)	16	-1	2.3%	0.4
(女)	13	-3	2.1%	0.1
45歳～54歳	30	-2	1.8%	0.0
(男)	16	1	1.8%	0.0
(女)	14	-3	1.7%	-0.1
55歳～64歳	27	0	2.4%	0.2
(男)	16	-1	2.4%	0.1
(女)	11	1	2.3%	0.3
65歳以上	13	-3	1.3%	0.0
(男)	10	-3	-	-
(女)	3	0	-	-

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆自発的な離職(自己都合)が3カ月連続で減少

完全失業者数を求職理由別に見ると、自発的な離職(自己都合)が3カ月連続で減少となり、対前年同月比3万人減で69万人となった。

【求職理由別完全失業者数の推移】

	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月
勤め先や事業の都合による離職(万人)	22	20	19	21	23	22	19	20	21	23	22	20	20
対前年同月増減(万人)	-2	0	-3	-4	1	-1	-6	-3	0	3	0	0	-2
定年または雇用契約終了による離職(万人)	17	14	16	20	16	15	18	17	17	13	15	14	16
対前年同月増減(万人)	2	-1	0	-2	-3	-5	0	-4	-3	-4	-2	-3	-1
自発的な離職(自己都合)(万人)	72	66	79	75	68	66	70	73	73	73	63	62	69
対前年同月増減(万人)	5	-6	6	2	4	-3	-2	0	-2	2	-12	-11	-3
新たに求職	40	38	40	39	40	43	35	32	40	40	35	37	37
対前年同月増減(万人)	4	-4	-5	-4	3	4	-5	-6	5	1	-2	1	-3

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

(2)有効求人倍率・新規求人倍率・正社員求人倍率の推移

◆有効求人倍率は前月より0.08ポイント低下して1.49倍

ハローワークにおける有効求人倍率(季節調整値)は前月より0.08ポイント低下して1.49倍、正社員の有効求人倍率も前月より0.06ポイント低下して1.07倍となった。有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率も前月より0.39ポイント低下し

て2.04倍になっており、人材需給はやや緩和されている。

【ハローワークにおける有効求人倍率(パートタイムを含む/季節調整値)の推移】

	2018年12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月
有効求人倍率(倍)	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63	1.62	1.61	1.59	1.59	1.57	1.57	1.57	1.57	1.49
新規求人倍率(倍)	2.41	2.48	2.50	2.42	2.48	2.43	2.36	2.34	2.45	2.28	2.44	2.32	2.43	2.04
正社員有効求人倍率(倍)	1.15	1.14	1.15	1.16	1.16	1.15	1.15	1.14	1.14	1.13	1.13	1.13	1.13	1.07

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

### (3)職業別有効求人倍率の推移

◆ハローワークにおける専門的・技術的職業の有効求人倍率は前年同月より0.11ポイント低下して2.32倍となった。6カ月連続の低下であり、専門的・技術的人材の需給は緩和傾向が続いている。

◆最も有効求人倍率が上昇したのは、「社会福祉専門の職業」であり、対前年同月比で0.22ポイント上昇して3.73倍となり、次いで「その他の保健医療の職業」が同0.13ポイント上昇して2.32倍となった。

◆専門的・技術的職業で最も有効求人倍率が高いのは「建築・土木・測量技術者」の6.86倍、次いで「建設・採掘の職業」の5.57倍となり、建設技術者、建設技能工の人材需給が最も逼迫している状況は続いているが、有効求人倍率の上昇率は一気に低下した。

【ハローワークにおける職業別有効求人倍率(除パート)の推移】

	2018年12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月
職業計	1.54	1.51	1.49	1.43	1.35	1.33	1.37	1.40	1.41	1.42	1.43	1.46	1.51	1.4
専門的・技術的職業の有効求人倍率	2.50	2.43	2.35	2.24	2.04	2.01	2.11	2.18	2.21	2.23	2.25	2.33	2.45	2.32
開発技術者	2.84	2.68	2.66	2.54	2.34	2.28	2.40	2.36	2.40	2.41	2.27	2.36	2.40	2.29
建築・土木・測量技術者	7.06	6.82	6.78	6.51	5.91	5.92	6.33	6.75	6.81	6.89	7.03	7.34	7.50	6.86
情報処理技術者	2.74	2.65	2.65	2.57	2.40	2.36	2.43	2.44	2.45	2.46	2.41	2.42	2.47	2.30
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	5.84	5.96	6.04	5.94	4.86	4.90	4.51	4.47	4.43	4.45	4.46	4.66	4.90	4.76
保健師、助産師、看護師	2.83	2.76	2.65	2.53	2.24	2.21	2.31	2.32	2.35	2.36	2.47	2.63	2.85	2.69
医療技術者	3.33	3.26	3.29	3.15	2.82	2.73	2.94	3.05	3.18	3.12	3.17	3.27	3.42	3.20
その他の保健医療の職業	2.25	2.19	2.17	2.13	1.99	1.97	2.10	2.18	2.21	2.25	2.28	2.32	2.40	2.32
社会福祉専門の職業	3.62	3.51	3.30	3.08	2.76	2.77	3.01	3.22	3.32	3.42	3.43	3.58	3.92	3.73
美術家、デザイナー、写真家	0.47	0.46	0.46	0.43	0.40	0.37	0.39	0.40	0.40	0.39	0.39	0.39	0.39	0.37
事務的職業	0.48	0.49	0.51	0.48	0.44	0.43	0.43	0.45	0.45	0.46	0.47	0.47	0.48	0.47
販売の職業	2.17	2.16	2.13	2.07	1.96	1.94	1.99	2.00	2.01	2.02	2.02	2.08	2.15	2.06
サービスの職業	3.20	3.10	3.03	2.91	2.83	2.88	2.99	3.06	3.11	3.10	3.13	3.18	3.33	3.11
生産工程の職業	1.95	1.90	1.88	1.79	1.73	1.69	1.71	1.68	1.68	1.68	1.66	1.67	1.68	1.56
輸送・機械運転の職業	2.77	2.74	2.73	2.66	2.57	2.52	2.61	2.61	2.63	2.65	2.69	2.81	2.88	2.68
建設・採掘の職業	5.76	5.49	5.46	5.37	5.21	5.21	5.43	5.60	5.73	5.81	5.92	6.17	6.17	5.57

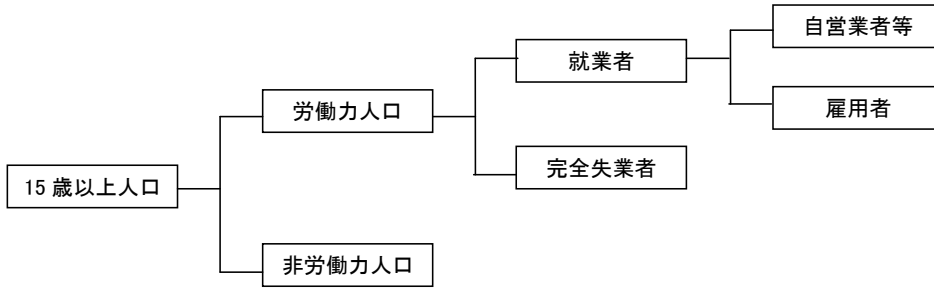
出典：厚生労働省：一般職業紹介状況より作成

【職業別有効求人倍率(除パート)の対前年同月比】

	2018年12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月
職業計	0.08	0.06	0.06	0.06	0.05	0.03	0.01	0.00	-0.01	-0.02	-0.02	-0.03	-0.03	-0.11
専門的・技術的職業	0.07	0.06	0.07	0.09	0.08	0.05	0.02	0.00	-0.01	-0.02	-0.04	-0.05	-0.05	-0.11
開発技術者	0.16	0.06	0.05	-0.01	-0.10	-0.07	-0.06	-0.22	-0.18	-0.14	-0.37	-0.40	-0.44	-0.39
建築・土木・測量技術者	0.40	0.32	0.36	0.40	0.44	0.57	0.72	0.69	0.49	0.49	0.53	0.56	0.44	0.04
情報処理技術者	-0.08	-0.12	-0.07	-0.03	-0.07	-0.08	-0.12	-0.13	-0.17	-0.13	-0.21	-0.22	-0.27	-0.35
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	-1.40	-1.00	-0.74	-0.56	-0.88	-0.50	-1.24	-1.34	-1.26	-1.09	-1.01	-0.88	-0.94	-1.20
保健師、助産師、看護師	-0.12	-0.07	-0.06	0.02	0.00	-0.01	-0.05	-0.09	-0.08	-0.10	-0.03	0.02	0.02	-0.07
医療技術者	0.12	0.09	0.13	0.21	0.15	0.16	0.11	0.08	0.09	-0.03	0.03	0.06	0.09	-0.06
その他の保健医療の職業	0.17	0.16	0.19	0.27	0.22	0.20	0.21	0.21	0.19	0.12	0.14	0.13	0.15	0.13
社会福祉専門の職業	0.15	0.17	0.22	0.24	0.25	0.18	0.19	0.17	0.20	0.21	0.14	0.16	0.30	0.22
美術家、デザイナー、写真家	-0.05	-0.06	-0.07	-0.09	-0.24	-0.28	-0.07	-0.07	-0.08	-0.08	-0.07	-0.07	-0.08	-0.09
事務的職業	0.04	0.03	0.04	0.02	0.03	0.02	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	-0.02
販売の職業	0.18	0.19	0.15	0.15	0.10	0.07	0.03	0.01	-0.03	-0.03	-0.03	-0.02	-0.02	-0.10
サービスの職業	0.03	0.00	0.05	0.12	0.14	0.13	0.12	0.12	0.15	0.07	0.13	0.12	0.13	0.01
生産工程の職業	0.18	0.15	0.10	0.06	0.04	0.01	-0.02	-0.09	-0.12	-0.15	-0.20	-0.23	-0.27	-0.34
輸送・機械運転の職業	0.23	0.23	0.20	0.21	0.16	0.13	0.14	0.11	0.09	0.06	0.11	0.13	0.11	-0.06
建設・採掘の職業	0.83	0.69	0.63	0.69	0.63	0.58	0.58	0.51	0.59	0.51	0.55	0.48	0.41	0.08

<用語解説>

1. 労働力人口・就業者・雇用者・完全失業者



\* 労働力人口

15歳以上で働く意思と能力を持つ者。

\* 非労働力人口

15歳以上で働く意思や能力のない者。

\* 就業者

賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)になる仕事を少しでもした者。

\* 完全失業者

仕事がなく仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者、および仕事があればすぐに就ける状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者。

\* 自営業者

株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている者。

\* 雇用者

会社・団体・官公庁または自営業主や個人に雇われて給料・賃金を得ている者。

2. 就業率

「15歳以上の人口」に占める「就業者」の割合

3. 完全失業率

「労働力人口」に占める「完全失業者数」の割合

4. 有効求人倍率

有効求人数／有効求職者数(倍)

5. 新規求人倍率

新規求人数／新規求職者数(倍)

\*「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。

6. 充足率

(就職件数／新規求人数) × 100 (%)

■このレポートに関する問合せ■

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1階

ヒューマンタッチ株式会社 ヒューマンタッチ総研担当

TEL: 03-6846-1027 Mail: htsouken@athuman.com